

三笠公園集客・交流拠点機能拡充事業に係る  
マーケットサウンディング

結果概要

令和5年1月

横須賀市

## ◎本事業におけるマーケットサウンディングについて

横須賀市では、「横須賀再興プラン」（横須賀市実施計画 2022～2025）により、歴史や文化、スポーツを生かしたにぎわいの再興の実現に向けた施策の1つとして「ルートミュージアムのさらなる強化（公園のさらなる利活用）」を掲げています。ルートミュージアムのサテライト施設として位置付けし、世界3大記念艦がある三笠公園は、大規模なリニューアル工事を行ってから30年以上が経過し設備の老朽化も進んでいることから、新たな魅力の創造に向け、民間事業者との連携も視野にリニューアルを検討しています。

そこで、令和4年度は、事業の方向性や導入機能の検討のための参考とすべく、マーケットサウンディングを実施しました。

令和5年度以降には、三笠公園の新たな活用方法を検討するため、事業スキームの検討、事業化に向けたマーケットサウンディング、基本計画の策定等を実施する予定です。

## 1 マーケットサウンディングの開催概要

### （1）調査の実施経過

本調査の実施経過は以下のとおりです。

日付	内容
令和4年10月7日（金）	マーケットサウンディング実施要領等の公表
令和4年10月28日（金）	提案書の提出締切
令和4年11月～12月	対話実施

### （2）参加事業者数

本調査には、9事業者からのご参加を頂きました。

⇒「開発・不動産事業者」：2者、「造園・公園運営事業者」：3者、「設計事業者」：2者、「スポーツ事業者」：1者、「イベント事業者」1者、「スポーツ団体」：3者

## 2 提案・対話の概要

---

### (1) 現在の三笠公園の魅力・ポテンシャルについて

- 海に面した開放感のある景観、アメリカ海軍横須賀基地に隣接していることによる異国感といった、地理的な魅力・ポテンシャルがあるという意見が多く得られました。
- 世界三大記念艦「三笠」と隣接しており、周辺には猿島やドブ板通り等があるなど、観光的な魅力・ポテンシャルがあるという意見が多く得られました。
- 横須賀カレーフェスティバルやよこすか開国祭など、横須賀市民以外にも知名度があり、国際的に注目されるようなイベントの誘致や、大型イベントの実施の場としての魅力・ポテンシャルがあるという意見が多く得られました。

### (2) 現在の三笠公園の課題について

- 最寄りの横須賀中央駅から徒歩 15 分程度かかる一方で、公園に隣接する駐車場が少ないことから、アクセス性に課題があるという意見が多く得られました。
- 近隣に訴求力の高い施設が数多くあり、現状は猿島に向かう人の通過点になってしまっていることが多く、訪問の動機づけが弱いといった意見も得られました。
- 壁泉や音楽噴水、せせらぎ、音楽ステージ等多くの施設が老朽化していることが課題という意見もありました。
- また、さざなみ階段が視界を遮っていることにより、三笠公園入口から音楽噴水ゾーンへの視認性が極端に低いため、三笠公園内で記念艦三笠ゾーンと音楽噴水ゾーンが分断されてしまっているという意見もありました。

### (3) 三笠公園の活用コンセプトについて

- 「海」「米軍基地」「記念艦三笠」「市内で唯一野外ステージがある場所」というここにかかない絶対的な魅力を最大限に活用するものにすべきという意見がありました。
- 特色のあるコンテンツの充実が重要という意見が多く得られました。具体的な意見としては、スケートボードや BMX などのアメリカ的な要素を感じられるアーバンスポーツ施設や、禁止事項をあえて開放し自由な活動を認める場所などがありました。
- 地元関係者を巻き込むことで地元の魅力を掘り下げていくような事業にするとよいのではという意見もありました。
- 横須賀全体・市内の東西をつなぎ、単なる三笠という視点だけでなく、拠点間の連携や、その連携の情報の発信基地として整備できるとよいという意見もありました。
- また、よりよいコンセプトにしていくために、大規模なリニューアルの前に、三笠公園の活用方法を検討する社会実験を実施するとよいのではという意見もありました。

#### (4) 三笠公園に導入すべき機能（公共施設／民間収益施設）について

- 導入すべき公共施設としては、駐車場、清潔感と機能性のあるトイレ、全天候型多目的広場やイベントスペース、音楽イベントなどを実施できるステージ、情報通信施設、交流拠点機能等を備えたパークセンターなどの意見がありました。
- 導入すべき民間収益施設としては、眺望のよいレストランやキッチンカーなどの飲食施設、景観や音楽を楽しめて長時間滞在できるような休憩施設、アウトドア・スポーツ系の物販施設や子供向けスポーツ教室などの意見がありました。

#### (5) 三笠公園を活用したイベント、プログラムについて

- 海や基地・艦隊に関連するイベント・プログラムがあるとよいのではという意見がありました。
- アーバンスポーツフェスティバルなど、スポーツに関連するイベント・プログラムがあるとよいのではという意見がありました。
- ビアガーデンや横須賀の食フェスティバルなど、食に関連するイベント・プログラムがあるとよいのではという意見がありました。
- 音楽フェスや野外コンサート、野外映画鑑賞会など、芸術に関連するイベント・プログラムがあるとよいのではという意見がありました。

#### (6) リニューアルのイメージについて

- 三笠公園通りゾーンのリニューアルイメージとしては、歩道の整備、駐車場の設置や、イベント時のキッチンカーなどの出店スペースといった意見がありました。
- 記念艦三笠ゾーンのリニューアルイメージとしては、交流拠点施設や情報発信エリアを整備するのがよいのではという意見がありました。
- 音楽噴水ゾーンのリニューアルイメージとしては、飲食施設等の整備による賑わいエリア、芝生やアーバンスポーツ施設やイベントスペース等の整備による憩い・レクリエーションエリア、護岸の張り出し等による親水エリア、といったものとして整備するのがよいのではという意見がありました。
- 噴水施設等の既存施設は、既存の形状を活かした改修をすることで十分にアーバンスポーツに利用することができるため、既存施設をできる限り活用することで建設コストを抑えられるのではないかという意見がありました。

#### (7) 市に期待する役割、その他意見等について

- 市に期待する役割としては、老朽化した施設の撤去、インフラ整備、広場・歩道・パークセンター等の公共施設整備、特定公園の整備の予算化、関係各所との調整といったことが挙げられました。
- その他、官民役割分担の考え方として、10年後、20年後に民間施設が無くなっても都市

公園としての機能を保てる施設・整備は「官」の分担、時代のニーズに臨機応変に対応しリニューアルできる施設・整備は「民」の分担にするべきという意見がありました。

- 事業スケジュールについて、三笠公園の規模を鑑みると体制づくりや充実した提案作成に備えて事業者公募開始までの準備期間は半年から1年程度を確保することや、設計・建設に要する期間についても2年程度は確保することが望ましいという意見が多く得られました。

### 3 今後の方向性

---

本調査により、三笠公園への民間収益施設の設置可能性が確認できたことから、三笠公園の活用方針を検討するにあたり、官民連携手法の導入を前提としたコンセプト及び導入機能を検討していくこととします。また、リニューアルの前提条件として市による一定の機能整備の必要性が示されたことも踏まえ、市としての財政負担範囲や事業スケジュールも含めた事業内容を検討していきます。一方で、早期的な公園内外の人流促進として、既存施設を活かした暫定的な利活用についても検討していきます。

今後は、本調査結果を踏まえ、事業スキームの詳細検討等、事業化に向けた取り組みを進めていきます。

### 4 連絡先

---

横須賀市建設部公園建設課官民連携事業担当

〒238-8550 横須賀市小川町1-1番地（横須賀市役所2号館6階）

メール：[pac-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:pac-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp)

担当者：小野、石橋